土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-6	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 25.7146"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 6月22日～ 令和2年 6月23日	東経	132° 30' 57.2627"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 48.43m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	47.83	0.60		礫混り砂質土		灰褐			φ5～30mmの角礫・亜角礫が混じる細～中粒の砂・砂質土。
1	46.73	1.70		砂礫		淡褐灰	rd3		φ10～70mmの角礫・亜角礫と厚さ8cm程度の硬い玉石が混在。礫間は中～粗粒砂で、一部はマサ土状。
2	45.53	2.90		玉石混り砂礫		淡褐灰	rd5		φ5～70mmの角礫・亜角礫と長さ8～15cmの硬い玉石が混在。礫・玉石間は細～粗粒砂で埋められる。深度2.70～2.90m間、濃暗灰色に酸化する。
3	43.43	5.00		花崗岩		淡灰			中硬岩相当の花崗岩。厚さ1～8cmの岩片及び長さ10～28cmの短棒状～棒状。全体に水平方向の割れ目が発達する。岩質は新鮮で、ハンマーの打診で金属音を発する。
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

孔内水位／測定月日：6/23 1.30

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.25	6	6	6	18/300		
50以上	1.55 2.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	3.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.25 / 1.55	P-1	⊖		6/22
				6/23